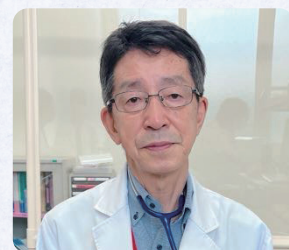


腎臓の病気は多岐にわたり、通常の尿、血液、および画像検査だけでは診断が難しいケースが多く存在します。特に蛋白尿や血尿といった異常尿所見、あるいは腎機能低下を呈する「腎炎」例など、腎臓内科が対象とする疾患の確定診断には困難を伴います。このような場合、腎臓の組織を採取して顕微鏡で詳しく調べる「腎生検」が決定的な役割を果たします。



公益財団法人ときわ会常磐病院
名誉院長 川口 洋

腎臓病を見逃さないために
腎生検の目的と安全な実施の流れ

- 日本透析医学会 専門医、指導医
- 日本腎臓学会 専門医、指導医、功労会員
- 日本移植学会
- 日本小児科学会
- 日本小児腎臓病学会
- 急性血液浄化療法学会
- 日本HDF研究会
- 日本臨床腎移植学会 腎移植認定医

への対策と安全性、そして実際の検査の流れまで、川口医師が分かりやすく解説します。

腎生検を行う理由

腎臓の病気は多岐にわたります。悪性腫瘍／尿路結石や形態異常（とくに先天性の腎尿路系異常）等は画像検査で診断可能ですが、腎臓内科で対象とするいわゆる異常尿所見（蛋白尿／血尿）や腎機能低下を呈する、いわゆる腎炎（急性／慢性糸球体腎炎）や薬剤障害（とくに抗菌薬・鎮痛薬、重金属等による）は診断困難です。そのような場合、腎臓の組織を採取して顕微鏡で精査すると判断が確定されます。そのように腎臓の一部を採取し顕微鏡で精査することを腎生検といいます。

（次のページへ続く）

腎生検でわかる病気

腎臓内科で扱う腎疾患の多くは、組織レベルで起こっているものが多く、腎生検にて各種腎炎、腎症（高血圧性、糖尿病性）、薬剤性腎障害などがわかります。

腎生検の合併症

腎生検の合併症で最も多いのは、腎生検の針で腎臓を穿刺した後の出血です。

腎臓は血管の豊富な臓器（組織）ですので、穿刺後圧迫してもごく小さな出血も含まれれば約70%程度出血すると報告されています（腎生検後出血）。しかしその多くは術後の圧迫とベッド上安静にて大事に至らず止血されます。現在は高性能の超音波装置下でreal timeで穿刺しますので、非常に安全に実施されます。過去には輸血が必要な症例も稀にありましたが、約1,000例に1例程度とごく稀です。

腎生検の流れ

腎生検は右記のように術後出血のリスクがあり、基本は検査手技であり治療行為ではないので、その点も考慮し、安全のために必ず入院が必要です。通常、術前日に入院し、翌日午前中に点滴を開始（正

血剤入り）します。なお当院ではさらに安全のために手術室に搬送し、腎生検を行います。通常は左腎（ふつう腎臓は左右2つあります）の下極（下部）を穿刺しますので、左背部から皮膚→皮下組織→筋肉→腎被膜（腎表面へ十分に麻酔します。その後皮膚にメスで小切介を入れ、超音波装置でreal timeに観察しながら腎生検用の針で腎を穿刺（十分診断可能な組織を採取するために通常2回）し、穿刺後十分な圧迫を行います。超音波装置で大きな出血がないことを確認してから、病室へ搬送。その後穿刺部に砂嚢を乗せ、3時間うつ伏せで圧迫安静、その後仰臥位で約24時間安静を保持します。翌日出血の有無を確認し、何も無ければ安静解除になります。なお術後出血は24時間後にも起こる可能性があるため、2〜3日入院し観察いたします。

検査の結果は早くとも2週間程度の日数を要しますので、退院後の外来で結果をご説明いたします。

腎生検は、腎臓の病気を正しく見極め、一歩体に合った治療法を選ぶための、とても大切な検査です。ご不明な点などがありましたら、常磐病院の腎臓内科にご相談ください。

TOP 01

初期臨床研修医によるCPC（臨床病理検討会）開催

10月10日、常磐病院講堂にて、初期臨床研修医によるCPC（臨床病理検討会）が開催されました。CPCは、患者様の診療に携わった臨床医と病理診断をおこなう病理医が一堂に会し、症例を詳細に検討することで、今後の医療に活かすための重要な場です。

発表は、いわき市医療センター、福島労



災病院、かしま病院の研修医の皆様にもZoomにて配信され、地域全体の医療の質向上を目指し

た連携の機会にもなりました。

【発表者】

初期臨床研修医 1年次

内 悠奈 先生

金田侑大 先生

梁 成準 先生

【臨床指導医】

外科 澤野豊明 先生

【病理医】

廣岡 信一 先生

研修医は、指導医の先生方と共に、この貴重な症例を通じて深く学び、真摯に医療と向き合いました。私たちは、今回のような検討の積み重ねを通して、患者様や地域の皆様の医療に貢献し、医療の発展に繋げていきます。

TOP 02

いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動を実施

10月20日、「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動（秋の一斉清掃）」に合わせて、当院でも清掃活動を実施しました。

常磐病院では毎週月曜日に敷地内の清掃をおこなっていますが、今回は清掃範囲を拡大。病院の駐車場やバス停前、隣接する「ガニラ公園」まで足を延ばし、ゴミや落ち葉を拾いました。



秋の気持ちのいい空気の中で、地域に根ざした活動、そして地域の環境美化に取り組むことができ、参加した職員にとっても充実した時間となりました。今後も地域の一員として、環境美化に努めてまいります。

公益財団法人ときわ会 常磐病院 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

